

概要版

藤沢市DX推進計画

2026年（令和8年）4月1日

藤沢市





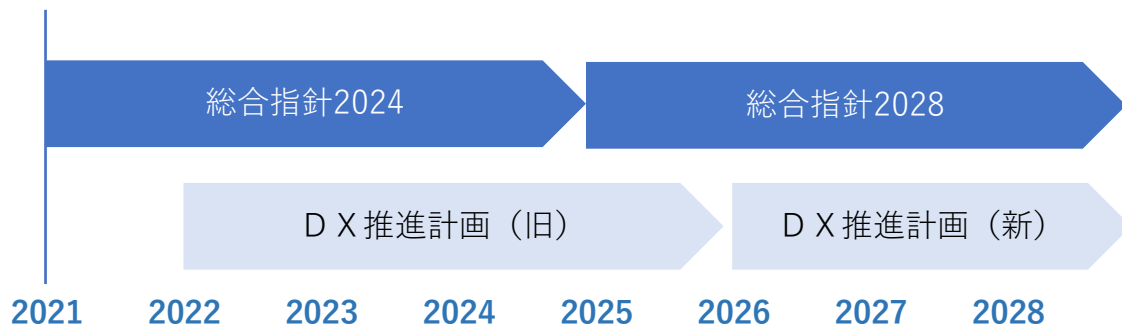
背景

急速に進展するデジタル技術の進化や社会環境の多様化・複雑化により、行政サービスや地域社会のあり方も大きな変革を求められています。
これらの社会的課題に対応するため、藤沢市ではDX推進計画を定め、取組を推進してきました。

対象期間

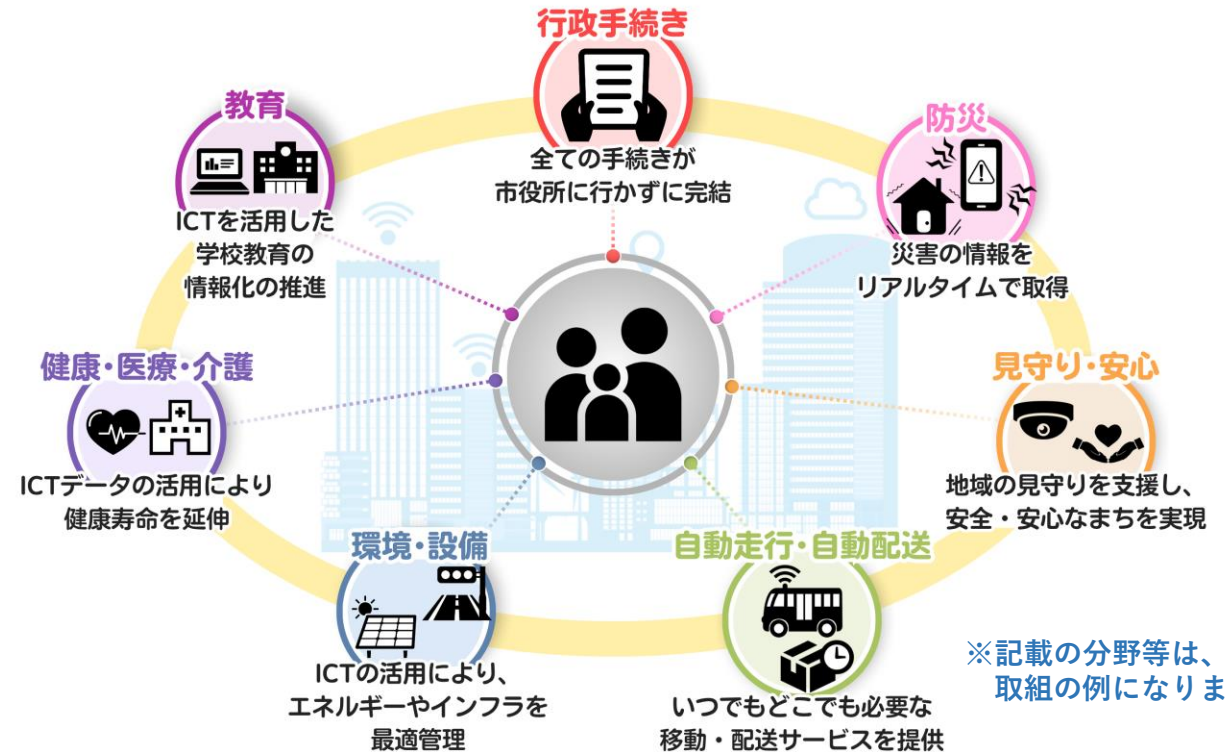
2026年（令和8年）4月から
2029年（令和11年）3月まで

※「藤沢市市政運営の総合指針2028」と整合性をもって進めます



目指す姿

誰もがより一層の利便性を実感でき、市民・職員・まちがデジタル化の恩恵を享受できるようなサービスを引き続き提供することで、「藤沢市市政運営の総合指針2028」に掲げるまちづくりコンセプト「最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち」の実現を目指します。



※記載の分野等は、取組の例になります。



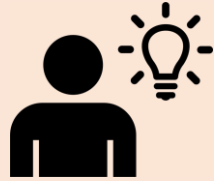
7つの基本項目

本市のDXは、7つの項目を基本的な考え方として掲げ、より効果的・効率的な施策を推進します。

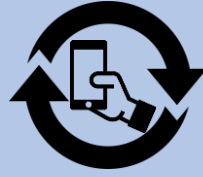
利用者のニーズから出発する



既成概念にとらわれない



デジタルファーストかつエンドツーエンド



小さく始め、大きく育てる



誰一人取り残さない



将来を見据えた共創や広域連携



安全安心な仕組みづくり



藤沢市のDX

日進月歩で進化し続ける生成AI等の技術により、近い将来働き方や暮らし方が大きく変化することが想定されます。新たな技術も柔軟に取り入れて、社会の変化に適応し続けることができるよう、行政DXと都市DXに取り組みます。

行政DX



都市DXのうち、行政分野の取組として、インターネットを通じて市役所のサービスを提供する“デジタル市役所”の実現を目指します。

都市DX



「共創」の考え方のもと、企業や大学、住民等様々な主体と価値観を共有し、人のつながりや絆を大切にしながらデジタルの力をうまく活用することで、「ひと」「暮らし」「まち」が輝く、将来を見据えた課題解決に資するスマートシティの推進に取り組みます。



行政DXの取組

藤沢市は、**どこでも** **ピッタリ** **簡単** 「デジタル市役所」を目指します。

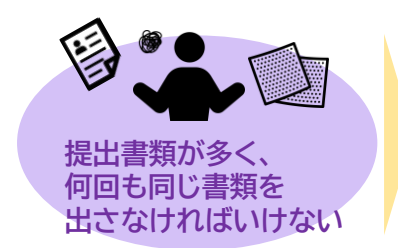
どこでも



ピッタリ



簡単



1 オンライン手続きの拡充

オンライン手続きの拡充

アナログ規制改革の推進

2 一人ひとりに合わせた情報発信

市民目線で情報を見つけられる環境整備

属性に応じたプッシュ型通知の活用

3 手続きの簡略化

ふじまどの手続きの充実

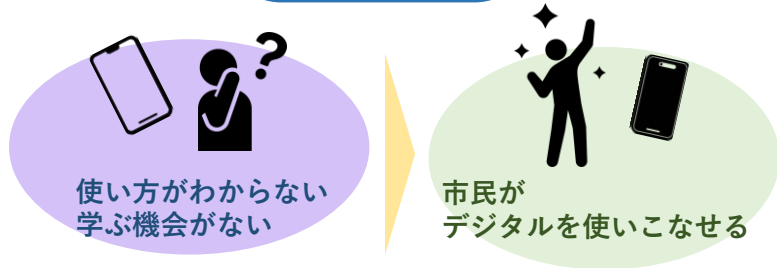
プラットフォームを利用した庁内連携



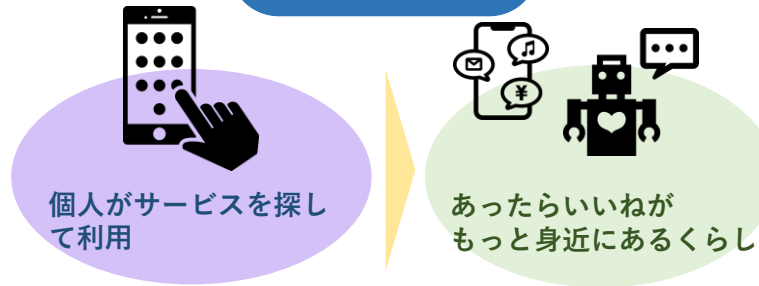
都市DXの取組

藤沢市は、新たな活力を創出し、進化しつづけることで、愛着と誇りあふれる藤沢の魅力を未来に受け継ぐため、
ひと 暮らし まち でテクノロジーを活用する「スマートシティ」を推進します。

ひと



暮らし



まち



1 デジタル技術を活用したい人の支援

デジタルデバインド対策として、講座・相談・
日常利用のサイクルを実現

プログラミングの学びにかかる裾野を拡大

2 日々の生活におけるデジタル技術の利活用の推進

デジタルサービスやアプリの活用・周知

デジタル技術の体験機会の更なる充実

3 まちづくりにおける先進的なサービスの推進

新しい技術を活用したまちづくりを更に推進

デジタル×共創による課題解決の更なる推進